

## 特別講演 1

### 「慢性心不全進行阻止を考えた高血圧治療

#### ～ARNI の心腎連関から考える臨床的意義～」

東北大学大学院医学系研究科

難治性高血圧内分泌代謝疾患寄附講座教授

佐藤 文俊 先生

本邦の高血圧疾患は推定 4300 万人と多い。治療していない患者群が脳心血管イベント、腎硬化症から透析導入に対する影響は、大きい。44%は未治療であり、血圧コントロール良好群は全体の 27%に過ぎないので、影響が大きいパンデミックと呼ばれる心不全、国民病と言われる慢性腎臓病は増加の一途である。ARNI は心不全にも適応を持ち、一方 eGFR を維持する作用を持ち、心腎保護を考えた高血圧診療における新しい武器となる可能性が高い。興味深いことに、300 例超の自験例では、MR ブロッカーや $\beta$ 2 ブロッカーと併用は、ARB との併用よりも、高カリウム血症や eGFR 低下が置きにくい。今回作用機序や多くの循環動態における改善作用を考察し、自験例を提示して ARNI の実践的臨床的意義をともに考えたい。